

有明高専生が金、銀賞

佐賀ビジネスプランコンテスト



金賞の野球観戦グループ(前列)と銀賞の観光支援グループ

商品やサービスの構想を競う佐賀ビジネスプランコンテスト(佐賀大産学・地域連携機構主催)で、有明高専(大牟田市)の学生2グループが金賞と銀賞を受賞した。スマートフォン

オンを使って野球観戦と史跡巡りを楽しむアイデアをそれぞれ提案し、評価された。コンテストは高校生と高専、大学の学生を対象に毎年開かれ、革新性や実現可

能性などを審査する。今年
は20組が応募した。

金賞に輝いたのは、竹下
咲紀さんと中尾七海さん、
加藤千佳さん(いずれも3
年)の野球観戦グループ。
球場でグラウンドにスマ
ホをかざすと、画面にバッ
ターの打率や投手の決め
球などの情報が示されるサ
ービスを考えた。3人と
も大の野球好きで、「ファ
ンとして実現したい」と
熱のこもった発表が実っ
た。

銀賞の観光支援グループ
は、川添浩太郎さん(5年)
と初村哲志さん(4年)、
谷口幹さん(同)、井上翔
太さん(3年)の4人。熊
本県荒尾市の国史跡・三池
炭鉱万田坑跡をモデルに、
スマホで説明文や、かつて
あった建物のデジタル画像
を見ることが出来るシステ
ムを提案し、簡単な案内文
を表示するアプリケーショ

ンも試作した。谷口さんは
「地元の観光協会にも興味
を持ってもらい、励みにな
った」と振り返る。
指導した有明高専電子情
報工学科の石川洋平准教授
としている。

は「社会では、技術だけで
なく、それをビジネスに役
立たせる発想力も必要。コ
ンテストは貴重な経験にな
る。今後も挑戦させたい」